

別紙

令和 6 年 11 月 19 日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長

森田 洋一 様

議会報告会 2 班（教育福祉委員会）

班長 海老原 功一

阿部 治正

矢口 輝美

桑畠 伴子

乾 えり

楠山 栄子

坂巻 儀一

第 24 回議会報告会（第 2 部）の概要は下記のとおりでしたので、報告します。

記

1 概要

第 2 部は議員が席を移動する形で、2 回対話の機会が設けられた。

市民の皆さんから出たテーマは以下の通り。

【1 回目】参加者 9 名 議員 6 名（桑畠委員は受付）

- ・通学路の危険性及び自転車道路の整備について（流山セントラルパーク駅周辺）
- ・子どもの意見を聞く手法について（一人一台のタブレットを

別紙

有効活用することについて)

- ・ 民生委員の成り手不足や高齢者の見守りについて

☆・小中学校での防災について（特に 72 時間分の備蓄について）

☆・学校の人数が多すぎる　いじめが起きている　どうしたらいいのか

（☆は小学生からの質問）

【2回目】参加者 7名 議員 7名

・国からの補助金事業の成果について、また継続して事業化する場合の予算取りについて

・運動公園の事業について（説明が不足している　高齢者の利便性についても考慮すべき）

- ・区画整理に県と市の連携が必要な場合の対処について

- ・就学後の障害児の預け先について

- ・附属幼稚園の情報について

2 所感

海老原委員長

今回の議会報告会はワールドカフェ方式ということで、スタート時に市民の皆さんにお声を聞かせて欲しいということを伝え、丁寧に話を聞くということを心がけた。一つ一つの質問を教育福祉委員会として、執行部に伝えていくことを約束し、より良い市政につなげていきたいと思う。

阿部副委員長

今回の議会報告会は、長く続いた 4 班編成で市内の東西南北の 4 地域で実施という方式から、議会全体が市内一ヵ所で実施

別紙

という方式に変えてみました。一ヵ所での実施ですが、会場内では常任委員会で構成する4班に分かれて、市民の席は固定し議員が構成する班の方が一定の時間が過ぎたら次のテーブルに移動するという、これまでにない方式でした。第1部のテーマは「決算を次の予算につなげよう」とし、議会共通の指摘要望事項の報告が行われました。第2部は市民との意見交換会としました。第1部では、これまでと違ってきちんとルールを設けた上で、各会派と会派に所属しない議員の決算への意見表明の機会が確保された点は良かったと思います。各会派などの意見表明が前提としてあったことも作用したのか、市民の皆さんのお意見表明が全体としても活発であったようです。私たちの班では、中学生や小学生からも質問が出され、議会報告会の今後の可能性を感じることができました。

乾委員

これまでの委員会ごとの報告会だと、会派により主張するところがちがうのに、まとめてになってしまふのに違和感がありましたので、今回第1部で会派ごとの報告があったのは良かったと思いました。第2部では口の字型の机で、市民と議員が親しく話せる雰囲気だったのがよかったです、声が聞こえにくく困りました。かといってマイクを使ったら隣に響くし、小部屋に分けたら移動がむずかしいなど、課題を残したと思います。

楠山委員

今回の議会報告会は教育福祉委員会グループでの市民との対話は、穏やかで丁寧な話し合いに終始しました。先輩議員からお聞きした最初の頃の議会報告会は市民と議員との間に、対立するような意識があったやにお聞きしていますが、24回目と

別紙

もなると、議員も市民も経験を重ね、少しずつ少しずつ、互いに成熟している感想を持ちます。何より、これまで「議会報告会は、執行部主催のタウンミーティングとは違います」という説明から始まっていましたが、今回はそういう説明もなく、また、皆さまからいただいたご意見は批判というより、穏やかで、建設的なご意見、そして、議員と一緒に解決策を見出そうとする姿勢が見えたのが何よりでした。

桑畠委員

早くから来られた方、2部から参加された方、委員会を希望されてこられた方などいらっしゃいましたが、今回、座る場所を指定とさせていただきました。

大きなトラブルはなかったのでよかったです。若い世代の参加があったことは大変嬉しいです。合計38名の方に参加していただきました。ありがとうございました。

坂巻委員

教育福祉委員会のテーブルにランダムに割り当てられた参加者は小学生を含み活発に具体的な質問や意見が展開され、今までに開催された議会報告会と比較して、市民の方と議員の距離感が近く、少人数のテーブル毎に行われたワールドカフェ方式は参加者も発言し易く、議員や議会を身近に感じていただいたのではないかと考えます。しかしながら、他の委員会のテーブルでは一議員への個人的な高圧的な意見等もあり、他の参加者が恐怖を感じたという場面もあったと聞き、議員はもとより参加者にある程度のマナーやルールを順守していただく事は、今後の課題かと思われました。

別紙

矢口委員

今回の議会報告会には議会広報広聴特別委員会委員として準備の段階から参画してきた。より市民に近い場での対話という目的は達成できたと考える。海老原委員長のファシリテーションにより、議員がわかるることは答える、執行部に伝えていくことは伝えていく、議員側の態度が明確だったので市民の皆さんも納得して帰られたと思う。あとは今後、どのような対応をしたのかを伝えていくことが重要であり、市民の皆さんのが意見をしっかり市政に反映させていきたい。